

市町村合併

経過報告⑫

当別町での住民説明の結果

住民説明は、3月7日から5月9日にかけて、各町内会の総会などに合わせて40会場、42町内会の町民の皆さんに「市町村合併の検討経緯と当別町の基本的な考え方(現行の合併特例法(以下「現行法」という。)による合併を検討していくこと)」の説明をさせていただきました。

その結果、参加された町民の皆さんからは、月形町を含めて合併を協議する相手がいるうちは合併協議を進めることについて、ご理解をいただいたものと考えています。



月形町の基本的な考え方

4月28日に月形町長が当別町に来庁され、月形町での住民説明の結果による同町の合併に関する基本的な考え方の説明を受けました。

○月形町は、「合併相手として当別町、新篠津村との3町村による合併協議の継続を求めていくべき」としながらも、新篠津村の任意合併協議会解散の提案を重く受け止めている。
○合併については、現行法にかかわらず、時間をかけて検討していく。

新篠津村の基本的な考え方

5月12日に当別町長が新篠津村を訪問し、同町長と今後の任意合併協議会のあり方について協議しました。

○新篠津村は、現行法にかかわらず、まずは任意合併協議会を解散し、改めて枠組みを含めて、時間をかけて検討していく。

任意合併協議会のあり方は、同協議会の幹事会で協議

このように当別町が目指してきた現行法による合併の考え方と、月形町、新篠津村それぞれの考え方と、足並みが揃わなくなつたので、今後の3町村任意合併協議会のあり方は、同協議会の中にある幹事会(3町村の助役・部課長9名で構成)で協議することとしました。

質問、ご意見などは、企画課
(☎ 23 3042) へ。

すてきなお庭に足を運んでみませんか？ オープンガーデンが始まります

花を愛するみなさんのコミュニケーションの場としてオープンガーデン(お庭の公開)を今年も実施します。

既にガーデニングに取り組んでいる方もこれから始めたいという方もきっと役に立つはずです。是非、足を運んでみてください。



期間

6月～9月までの間でそれぞれのお宅が期間を設定します。
(詳しくはオープンガーデンマップをご覧ください。)

マップ配布場所

役場、ゆとろ、公民館、白樺・西当別コミュニティーセンターで配布します。



▼問合せ まちづくり推進課
(☎ 23 - 3073/FAX25 - 5555)



町長の日記

5月15日(土)

sign

今日は妻と二人で35年振りに京都の下鴨神社に葵祭を見に来た。

国宝の下鴨神社は現在は世界文化遺産にもなっていた。

参道は700mも続き「^{ただす}しの森」と云うだけあって樹齢5~600年のクスの木が生い茂って歩いていだけで身体の俗塵が払われるように感じた。

皇室からの勅使を先頭に京都御所から下鴨神社迄つづく約2時間のとりどりの行列は美しく「源氏物語」や「枕草子」の世界の感じで十何万人もの観光客と一緒に王朝の昔を偲び、見たはずもない我が祖の姿を考えていた。

京都で一軒だけ親せきになる泉亭の主人はこの時期5日間くらいは忙しくて仕事にならないらしい。もし私の先祖が北海道に移住してなかったら私は本家の長男だから観光する立場ではなかったはずだと笑われた。

云われてみると昨年、岩出山町の政宗公祭には無縁の私が甲冑姿で武者行列に参加させていただき、京都で賀茂^{かもちう}県主の末裔の私が葵祭には一観光客として見せていただいている立場なのは時の流れとはいえ面白い。

それにしても、どこのまちにもいろいろすばらしい祭があるもんだと思う。当別の各種お祭をなんとか盛大にしてもっと活性化したいと痛感した。

結局はそれぞれのまちの人々の郷土愛が祭をささえているように思う。さしずめ恒例の「夏至祭り」と7月に催す当別開拓の歴史小説家「本庄陸男の生誕百年祭」を盛り上げたい。

みんなが祭に参加して堤防の上から悠々たる石狩川の流れを眺めると夫々の過去が水の流れに運ばれて来るように想い出されるのではなからうか？それはあたかも美しい行列の如く。——行く川の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず——とか。

当別町長泉亭俊孝

高速ブロードバンド化整備に関する要望書を提出



近年インターネットは私たちの生活に密着したものとなり、情報通信基盤の整備は時代とともに欠かすことのできないものとなってきています。

しかし、本町地区にはADSL（非対称デジタル加入者線）サービスが行われていますが、西当別地区は一部無線によるブロードバンド環境があるものの、町全体としてみた場合、まだまだ整備が進んでいない地域であるといえます。

おはよう町長室や町長への手紙などにも「高速ブロードバンド化」に対する要望が多く寄せられています。

このような中、今回西当別地区で高速ブロードバンド化を熱望する有志（西当別に高速インターネットの実現をめざす会）と当別町商工会とが協力をして、当別町に早期光ケーブルの整備を求める署名活動が行われました。



「西当別に高速インターネットの実現をめざす会」の代表と河村商工会長

わずか1カ月余りの期間で796件にも及ぶ署名が集まり、多くの町民が熱望していると、町長に署名簿の提出がありました。

町は住民・団体が主体となり活動した成果を重く受けとめ、早速NTT東日本と北海道知事に対して正式に要望書を提出してきました。



NTT東日本に要望書を提出

NTT東日本には5月13日松田北海道支店長を訪ね、要望書を手渡しました。

同支店長からは、「すでに社内で調査をしており、前向きな検討を行っている」との回答をいただきました。

さらに5月17日には北海道のIT関連施策の担当部長である吉田企画振興部長へ、北海道に情報過疎地域を作らないという北海道ブロードバンド構想の趣旨からも、早期に高速ブロードバンド化の整備について力強い支援をお願いしたいと要望書を提出しました。



北海道に要望書を提出

これに対して吉田部長は、本町の地域性や住民ニーズに理解を示し、「北海道としても町全体の取り組みに対して協力をしたい」と回答されました。

日々情報化が進展する時代にあって、町としては一日も早く町全体が高速ブロードバンドが使える環境となるよう、これからも積極的な取り組みを進めていきます。